


社団法人 長崎青年協会



社団法人
長崎青年協会憲章

我々は会員の団結と
相互扶助の精神の基に
自己の建設と
会員の親睦を図り
もって地域社会の発展に
寄与する事を目的とする

—今月の行事—

おくんち広場

- 前夜祭 6日
- おくんち広場開催 7日・8日・9日
- 理事会 15日
- 臨時総会 21日

—来月の行事—

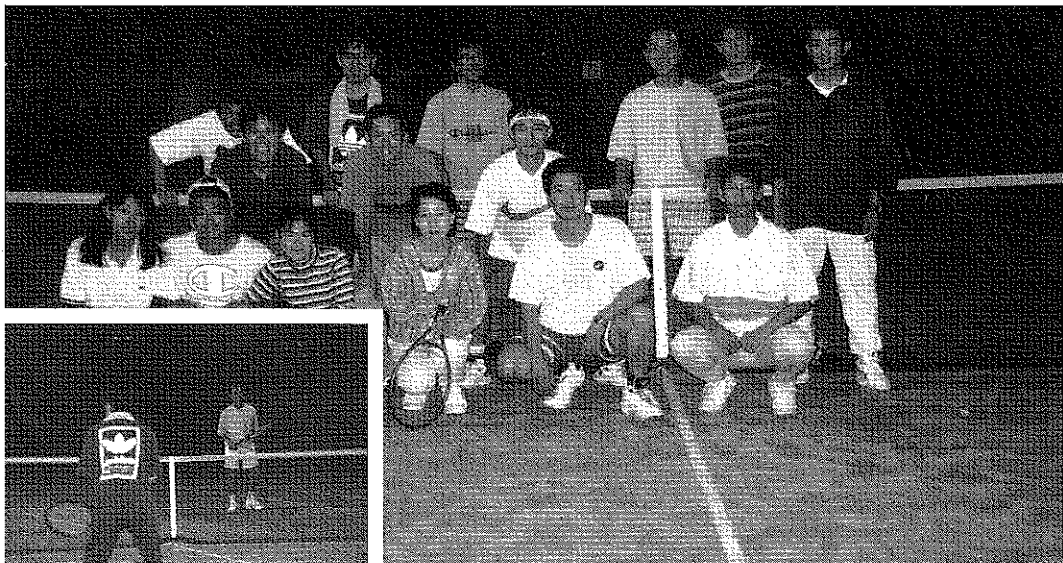
- 理事会 5日
- ソフトボール大会 10日

10

発行／長崎市魚の町7-7
(社)長崎青年協会
会長 田川 俊幸
編集／広報委員会
広報委員長 原 喜一郎

スローガン

「・・・らしく」



会長挨拶

会長 田川俊幸



長崎くんちのシャガリの音に、胸躍る季節であります。早いもので平成8年度長崎青年協会も数々の事業を通し、より堅固たる会員の団結が図られつつ半期が過ぎました。

その前半期の対外事業の締め括りとして、9月22日に「第2弾留学生と市民の集い Touch NAGASAKI」を実施致しました。澄みわたる秋空の下“居留地まつり”とのタイアップとして、それぞれの出身国の旗を振って参加したパレードとグラバー園散策。そして、午後からは、咸臨丸でのクルージングで交流を深めて頂きました。スタッフの皆様、大変お疲れ様でした。

また、24日の9月例会では、沢山のOBの皆様をお招きして「OB参観例会」を行いました。久しぶりに青年協会例会に出席され、現役と共に憲章を唱和し、講師講演に聞き入る皆様のお顔は、まさに30代に戻られた如く若々しく輝いておられました。その後の懇親会にて皆様の現役時代のエピソードを聴かせて頂き、会員一同大変感激致しました。平成10年度、青年協会30周年を迎えるにあたり、今後もこの様なOBとの接点の場を設け、貴重なご意見を頂戴して、共に30周年を迎えたいと考えておりますので、今後ともご協力よろしくお願い致します。

平成8年度後期も、先の例会でご講演頂きました原宮之先生（県教育庁体育保健課長）の「気迫と情熱」を以て、青年らしく推進して行きましょう。

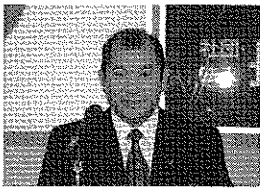
9月定時例会

日時：9月24日（火）

於：ホテルニュー長崎

OB参観 100% 定時例会 情熱を語る… 「長崎県スポーツの現状」

講師：原宮之氏

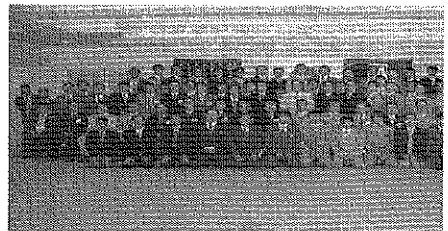


今回の講師講演はスポーツの秋にふさわしい内容のもので、長崎県のスポーツの現状についてスポーツ振興の足跡をまじえながら熱く語られました。

平成3年の石川国体で45位という不本意な成績に終わったことをきっかけに競技力向上対策本部ができ予算が大幅に増えたこと、企業スポーツでは児玉監督等著名人の招聘を行ったこと、県職員については広報誌でも取材した西夏樹さん（アトランタ五輪、カヌー競技代表選手）のこと、ジュニアについては主要競技で1～3位になった数が全国2位であること等をおもしろくお話しになり、最後に「闘争の倫理」についてフェアプレイのことに触れて締めくくりました。話の中で、よい監督の要素は情熱・愛情・理論・魅力・一貫性であるという点はスポーツだけではなく、協会でも社会でも通じるものがあると感じました。

また、質疑応答では、ワールドカップサッカーの候補地として立候補するのに1挙手2億円かかるということに会員一同どよめき、久保征幸OBからの県営球場のオープンセレモニーにオールスターゲームをとという要望があったり、予定時間を過ぎてもスポーツ談義に熱くなっていました。

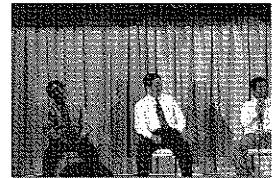
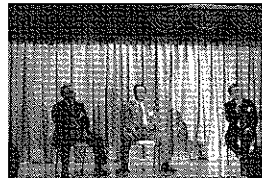
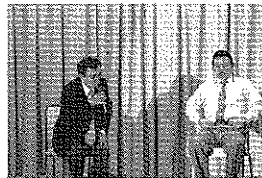
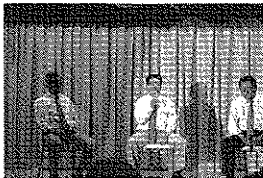
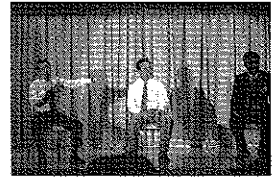
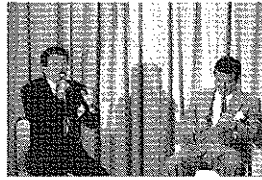
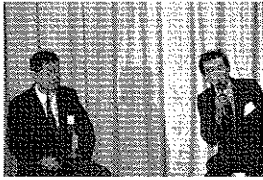
出席されたOB会員の方 三浦勝太OB・池本敏典OB・浜崎昭OB・鳥居直記OB・中尾英徳OB・久保征幸OB・太田勝良OB・勝本博文OB・川添吾郎OB・小川一朗OB・黒瀬勝幸OB・森山茂OB・金子寿英OB・馬場正勝OB・椋尾敏郎OB・熊澤悟OB・船越正治OB・劉済才OB・岡村一憲OB・森保博OB・桑田啓伍OB・船津信三郎OB・合六忠OB・中村善人OB・渡辺秀孝OB・松島孝之OB



2次懇親会

日時：9月24日(火)

於：平安閣



OB参観定例会も無事盛況に終了して、2次懇親会場へとOBと現会員の親睦を図れる様にと趣向を凝らして行いとてもいい企画でした。

上記の写真はそれぞれが相手の紹介を行うという方法で思い出話を語って載せました。

第4回 風に想いを…「ふうせんバレーボール in 長崎大会」

日時：9月1日(日)

於：長崎県立総合体育館(カプトガニメインアリーナ)

(参加された方々へ感想文を載せました。)

風船バレーボールに参加して

宮本美穂

6月の広報を見て、軽い気持ちで電話をしました。風船バレー自体聞いた事も見たこともなかったし、もちろんルールも知らないのに、審判をしてほしいとの事で電話してしまった自分自身に後悔しました。

実際やってみて普通のバレーボールとは違い、ちょっとした風でどこに行くかわからないし、力まかせで打つだけではダメだし……

難しいけど楽しいゲームだと思いました。又、障害者と健常者が一緒に出来るところが素晴らしいと感じました。しかし、審判となると話は別で、一人が必ず一回触る事や、3回以上触ってはいけない事など頭では理解していても、いざ試合になると緊張してしまい数えられなくなるのではと不安な気持ちで当日をむかえました。

当日は、一回審判をすると自信がつき、その後はあっという間の一日でした。

又、来年お声がかかれば参加させて頂きたいと思います。

チームのお世話係をして

野本幸枝

私の担当したチームは重度の障害を持たれた方々のチームでした。

施設の先生が苦にする事もなく機敏に行動される姿に感動し、私もお手伝いをするつもりでしたが車イスが特殊でお手伝いができなかった事が悔やまれました。

ボールもアシストしてあげないと打てない、表情も余り出せない、これで楽しいのかしらとふと思ったりしましたが、一回戦に勝利し、コーナーに戻って来た時の表情は力強く「あ〜」と声をあげ喜んでる姿に、たった一日だけのふれあいでしたが、たくさんの愛を感じて、その日一日は優しくなれた様な気がしました。

審判係をして

高木澄子

子育てを終え、何かと頑張ってた時に、広報ながさきを通じてふうせんバレーボールを知りました。新しい感動に出会い、参加させて頂きほんとう良かったと思います。

恥ずかしいことですが、ハートセンターに一度も足を運んだ事も、車椅子を押した事もなく自分とは無縁の所と、どこかで思っていたのかも知れません。

来年も参加できればと思っておりますが、待ちきれなくてドリームハート長崎さんに入会してるかも知れません。大変充実した一日をありがとうございました。

留学生と市民の集い

第2弾「留学生と市民の集い Touch NAGASAKI」 「居留地まつり/咸臨丸クルージング」を終えて

企画委員会 船越浩信



去る9月22日(日)「留学生と市民の集い」第2弾Touch NAGASAKIを開催致しました。大浦の居留地まつりにパレードとしての参加、午後よりは、咸臨丸に乗船するというスケジュールでした。全体を通して第1回目より今回の方が深く交流することができたと思っております。

その要因としましては、(当日、企画委員会反省会議より)

1. 天候がよく、日程通り行動できたこと
2. 市民の参加意識が強くなったこと
3. 留学生が、青年協会の活動に興味を持ちはじめたこと

などがあげられました。

しかしながら、我々企画委員会としましては、留学生、市民、そして協会員のフレンドリーな三者関係をもっと発展させるべきではないかと思っております。

最後になりましたが、スタッフとして参加して頂きました協会員には、厚く感謝致します。今後とも、企画委員各々、努力していきますので、応援宜しくおねがいします。

留学生と市民のつどい(咸臨丸クルージング)に参加して



村田優子

「留学生と市民の集い」は、今回で2度目の参加になります。特に今回は、長崎とゆかりのあるグラバー園、野口弥太郎美術館と名所旧跡を訪ね歩いたことで、私の住む長崎という所を再び考えるいい契機となりました。たくさんの留学生の方に日本、そして長崎に対する様々な質問を受け、そして私自身も色々な国の方とお話した事で、いい意味での刺激を与えて頂きました。さわやかな風ふく秋空のもと、船上での留学生の方との交流は、忙しい毎日から解放されたとても楽しい時間となりました。これからも長くつきあっていきたいと思うたくさんの留学生の友人ができたことを嬉しく思い、また力になれると思っています。

このような交流の場を設けて下さった関係者の方に深く感謝しています。



張航飛

二回とも市民と留学生との集いを参加させていただいて、とても楽しかったです。ありがとうございました。市民といろいろな交流して、日本の習慣や風俗、若者の考えなどをさらにわかるようになってきて、友達もたくさんできて、たいへん有意義な活動だと思います。

一回目、三京クリーンランド埋立処分場を見学させていただいて、たいへん勉強になりました。ごみ処理の問題は日本だけではなく、世界的な問題で、ますます深刻になってきています。私の専攻は水産経営ですが、水質の汚染や埋立、廃棄物の海洋投機などは自然の環境、魚類資源に大きな被害をあたえています。発展途上国の中国にとっても環境保護の問題は大きなプロジェクトです。

二回目、咸臨丸に乗って、海にでて、楽しかったです。昔のひとたちはそういう帆船を使って、知恵や経験と勇氣に基づいて海を渡りました。かれらに感心しました。ずっと昔の1405~31年の間に中国の有名な航海家鄭和(チョン・ホー)は西洋へ7回の海上遠征をおこなって、世界各国の貿易や交流を増進したと思われました。われわれはいま日本に留学しにきて一生懸命勉強すると同時に両国の友好や交流を増進するために努力しなければならないと思います。



喜々津幸

私は「留学生と市民の集い」への参加は、今回で二回目となりました。参加の目的は友達作りでした。前回数名の方々友達になることができ、今回もその方々と交流を深めることができ大変良かったです。

そして、最も楽しみにしていた咸臨丸のクルージングはゆっくり進む船上より様々な風景を眺めることができました。

また、日程が長崎居留地まつりと重なっていたこともあり、日頃住んでいるにもかかわらずなかなか訪れる機会のないグラバー園近辺を散策し、異国情緒豊かな長崎を実感できて良かったと思います。

毎回趣向を凝らすこのイベントは本当に参加することに意義があると思います。次回も機会があればまた参加したいと思います。

群雄の声 =OB列伝=

川添吾郎OB



☆仕事と青年協会活動を両立していましたか。

昭和46年に入会致しましたが積極的入会ではありませんでした。就職して3年目であり、又、サラリーマンの為時間が取れるか不安を抱いておりました。案の定昼間はほとんど時間がなく、昼間の活動にはなかなか参加が困難だったような思い出があります。しかしながら夜の会合だけは精一杯時間を費やし、例会、委員会等ほとんど参加しておりました。私としてはその分うまく両立していたんではないかと思っております。ただ

現在の活動状況をみれば、時代が違うかもしれませんが両立は難しかったんではないかとも思います。

☆仕事について

20年間勤務していた会社を7年前退社し、現在の会社を始めました。就職したいきさつから最後迄勤務をすると決めておりましたので、まさかこうなるとは夢にも思っておりませんでした。だから現在の境遇が不思議でなりません。特殊な仕事でいろんな苦勞をしておりますし、将来的に不安も少しはあります。しかし、現在の状況から判断すると良しといえるんではないかと思っております。これからも回りの人や協会の仲間達の指導を戴きながら頑張っていきたいと思っております。

☆最後に現役の皆様へ

私は自己啓発を第一の目的として協会活動をしておりました。現役の皆様も自己を磨いて、いろんな角度から勉強してほしいと思っております。私も現役の皆様へ敗けないよう人生一生勉強と肝に命じ知識を広めてゆきたいと思っております。仕事が優先する事は致し方ないけど、それを理由に協会活動を忘れてはならないと思っております。

青年協会の仲間として、今後とも宜しくお願い致します。

いよいよ！ソフトボール大会開催

日時：平成8年11月10日(日)

※ グローブは各自持参して下さい

(時間と場所は未定のため、後日お知らせします。)

チーム名	ピース・マンクラーズ	J T ハイライツ	おなべーず ONABE'S	R UN	カルビー・クッパーズ
監督	板倉 和人	田中 潤介	新ヶ江 憲和	白山 光男	新井 正実
キャプテン	松尾 浩	西口 勝治	田川 俊幸	川原 哲也	岡田 康信
第1指名	八尾 順二	平田 雄一	三瀬 健司	毎熊 健一	岩満 克弥

(2番目からはアイウエオ順)

第1指名を選ぶのを、今年は、いつもと変わってプロ野球式ドラフト第1指名をする方法を取り、希望する選手をそれぞれ獲得した様です。

選手	2	伊藤 克樹	荒木 幸司	池田 佳央	荒内 賢治	一ノ瀬 敦朗
	3	井上 英夫	円能寺 隆	井原 崇通	池辺 孝一	梅田 憲
	4	岸本 純孝	川口 健二	大石 誠	石田 則広	井手 清治
	5	小坂 初比郎	河村 賢治	片江 豊	大水 修平	木屋 祐輔
	6	桜井 俊郎	倉田 和彦	金ヶ江 忠	沖迫 司	木下 拓也
	7	下釜 一彦	桑岡 隆太	楠田 壽幸	小泉 寛治	田中 達也
	8	城谷 富好	田川 菊也	河野 文彦	清水 昭雄	西崎 達也
	9	嵩下 恭一	田川 清浩	猿渡 卓	高見 誠一郎	野田 真幸
	10	池島 秀	仁藤 和彦	洪谷 晃	寺本 正弘	平山 英則
	11	鶴長 達真	野島 徹也	鶴柴 英俊	中山 一郎	前田 哲也
	12	永石 直樹	原 喜一郎	廣川 誠一	濱崎 俊哉	松尾 俊二
	13	広瀬 健二	福田 増幸	溝口 章彦	原田 文忠	松尾 博一
	14	藤井 亘	松島 健二	蓑原 一隆	林田 秀夫	増崎 進一
	15	村田 修	松本 光正	山崎 伸一	船越 浩信	丸尾 隆
	16	吉田 正幸	馬見塚 純治	山室 敏紀	峰 章二	村岡 功志朗
	17	渡部 一夫	梁瀬 億則	湯藤 正典	山口 雄一郎	山口 丈司
	18				吉野 忠幸	和田 正信

監督/板倉 和人 チーム名/ピース・マン クラーズ

青年協会のたくさんある事業の中でとにかく全部の事業に色々と出席しましたが、ソフトボールだけは脚光を浴びた事がありませんでした。チーム名通り、チームの和という事を第一におきまして勝利をつかみたい。

ソフトボールで広報誌に板倉という名前を一度は残しておきたいと考えていました。

監督/田中 潤介 チーム名/JTハイライツ

チーム名の由来: 日本たばこ産業からパクったようだが Junsuke・Tanaka のイニシャルである「JT」と、4半世紀以上つきあっている愛煙「ハイライト」を組合せ、尚且つ11月10日、我がチームがその名の通り、「高く輝く」ことを期して1年前から命名していた。

チーム戦力分析: ドラフトに斎戒沐浴して臨んだ甲斐があって、やや重量感には欠けるものの、「西口キャプテン・平田1位指名」の日大コンビを軸に、若さと機動力のある高バランスのチーム編成ができたと自負している。

何よりこのメンバーで酒を呑んでるところを想像してもらいたい。(忘年会なら優勝出来る!?)

意気込み: 「ONABE'S」の新ヶ江監督の4連覇阻止が大目標。(他チーム優勝なら共に喜びます!) ただし新ヶ江監督と違いプレイングマネージャーとしての能力は1歩も2歩も劣るので、ゼネラルマネージャーに徹して情報収集能力と熱意でいざ勝負!!

監督/新ヶ江 憲和 チーム名/おなべ〜ず (ONABE'S)

一年に一回、仲の良い会員同士が数チームに分かれて露骨に争う、ある意味では賛否両論のイベントがこのソフトボール大会かもしれません。ドラフト会議でも公然と人身売買が行なわれ「上手」「下手」でその人の人格を無視されます。しかし、それが青年協会のソフトボール大会です。その中で、主将としてたまたま3連覇を成し遂げ今年は監督として4連覇に挑みます。我々「おなべ〜ず」は永年の療友である田川主将をはじめ思い通りの人身売買ができたと思います。今年は各チームの厳しいチェックの中、苦戦を強いられると思いますが、全力で優勝を目指したいと思います。

監督/白山 光男 チーム名/RUN

昨年のソフトボール大会後の打ち上げ会で、川原君の「キャプテンば、したかー」の一言に、「オイが指名すっけん」と言っ、キャプテンが決まりました。

チーム名は、「走れ!」にちなんで命名しましたが、チームの皆さんに強要するつもりは全くありません。

川原キャプテンからどんなチームが良いか聞かれた時に、お笑いはイヤだと答えたので、ドラフトでも真面目に取り組んだと思います。しかし、キャプテン不在の悲しさか、他チームからの評価は今一歩の様です。あとは、チームの構成を川原キャプテンに任せ、思い出に残るような大会となるよう支援していこうと思います。もちろん、「優勝したいなー」という思いはどの監督にも負けません。

監督/新井 正実 チーム名/カルビークッカーズ

いよいよソフトボール大会の季節、他チームの監督と異なりドラフト会議2日前にキャプテンを指名した即席チーム。しかし、ドラフト会議での選手指名は、予定通り、焼肉食べ放題をエサに全員参加と優勝を目標にガンバルぞ!!

石長 勝久OB (H8.9.10 死去)

(社)長崎青年協会現役時代、又、OB時代には大へんお世話になりました。私達、現役に、石長 勝久OBの思い出は心に残っております。

本当に有難うございました。安らかに永眠されますようにお祈りいたします。

合掌

翔ばたけ 同好会!!

●野球同好会

早朝野球(球楽会) (9月の試合結果)

今月は、ギリギリの参加で2試合行なわれましたが、2試合ともに9人の参加のみで20人ものチームではありますが、欠席する場合には原君(プレイングマネージャー)まで必ず連絡して下さい。

10月5日は多数の参加を期待しています!!



●テニス同好会

9/26(木) PM9:45~

トレディアテニスクラブにて第2回「テニス同好会」が開催されました。桑田OBも参加され楽しい汗をかかれていました。現会員の熱心な練習の成果が表われベアの試合でも白熱した戦い振りでした。参加者の方々お疲れ様でした。

